

科目名（英文表記）	地域経済・経営Ⅲ（北海道経済の課題） (Regional Economy and Management Ⅲ)		
科目区分	基礎科目	単位数	2 単位
担当教員名	小高 咲	ナンバリング	MBA_C_EM 6231
研究室番号	—	研究室電話番号	—
Eメール・アドレス	kotaka-sho@hro.or.jp		
授業の内容及び方法： 次頁以降に記載			
<p>授業の目的：本授業では、まず経済の構造や現状をどのように把握するかを学ぶ。次に、それを北海道経済にあてはめ、北海道経済の特徴や現状を把握・分析する。そのうえで、コロナ禍の影響も踏まえつつ北海道経済の課題を洗い出し、具体的な課題解決の方向性を考察する。</p> <p>到達目標：北海道経済の構造や課題について各自が自分の理解を持ったうえで、課題解決のための北海道の経済的な基盤強化について、方法論も含めて考察・整理すること。最終成果物は、講義の中で特定したマクロ的な課題の中から各自がどれか1つを選び、それを分析し、解決の方向性や解決策をまとめたレポートとする。モジュール7と8において、各自がレポートの内容を発表する。</p>			
<p>使用教材：</p> <p>①「北海道経済要覧2021」北海道経済部経済企画局経済企画課 令和4年7月（北海道HPからダウンロード可能）</p> <p>②「エビデンスから北海道の未来を ―北海道経済白書に向けて―」北海道経済同友会 2019年8月（北海道経済同友会HPからダウンロード可能）</p> <p>③「2050北海道ビジョン ～『課題解決先進地域』のフロントランナーを目指して」北海道経済連合会 2021年6月（北海道経済連合会HPからダウンロード可能）</p> <p>その他追加資料がある場合には、manabaに掲載する。</p>			
<p>成績評価の方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ●授業への参加姿勢（授業時における発言、グループディスカッションへの貢献、プレゼンテーション力など） 40% ●事前・事後課題 20% ●最終レポート 40% <p>評価に不服のある場合には、不服申立書をもって教務委員長に申し出ること。</p>			

履修上の注意事項：

- ・授業内で出された意見やディスカッションを踏まえて授業内容を見直すことがある。
- ・最終成果物であるレポートは、分野横断的・マクロ的な視野を持って課題を見出し、その解決策を考察し、整理するものとする。業種や分野に特化した課題解決策は、授業内で取り上げることはあっても、レポートのテーマにはならないので注意すること。
- ・授業内でのプレゼンテーションや講師の問いに対する発言等を通じて、自分の意見を発信することを重視する。プレゼン時間やプレゼンで取り上げるべき項目を常に意識し、人に聴いてもらう・理解してもらうことを心掛けること。
- ・最終レポートの評価に当たっては、「文章を通した発信力」にも着眼する。具体的には、①最低限ビジネス文書として読むに堪えるものであること（誤字脱字がない、文法に誤りがない等）、②個人の意見や想いに止まらず客観的なデータ分析等に裏打ちされていること、③論理の筋道が通っていること、を求める。
- ・外部実務家の講義を取り入れ、より大きな視点で北海道経済が置かれている状況やその変化を捉えたり、課題解決に向けた最新の動きに触れることを目指す。
- ・授業の進行を変更・修正する場合には、manaba上においてその都度通知する。